



財団法人柳田國男・松岡家
顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038
の12
電話：0790-22-1000

柳田國男のかまきりの話

日時 10月4日(土)午後2時
場所 柳田國男生家

平成21年度、記念館の講演会第3弾として川東丈純先生、鈴木武先生、大谷剛先生の3人をお招きします。テーマは「柳田國男のかまきりの話」です。奮ってご参加ください。(なお、3人の先生の似顔絵は似顔絵屋珍元齋こと川東先生がお描きになりました。)

講師紹介



川東先生

兵庫県立人と自然の博物館にお勤めです。そして謎の講師江南堂珍元齋としてもご活躍中です。



鈴木先生

兵庫県立人と自然の博物館にお勤めで、ご専門は遺伝子多様性から見た絶滅危惧種の保全生物学です。市民参加によるカタツムリの分布調査などに取り組んでおられます。



大谷先生

兵庫県立人と自然の博物館にお勤めです。ご専門は昆虫行動学、とくにミツバチの行動に関する研究を行っておられます。

柳田國男と かまきり展



(財)柳田國男・松岡家顕彰会記念館では講演会にあわせて企画展「柳田國男とかまきり展」を10月3日から開催します。ぜひお越しください。

8月の生家の様子



くによはん覚書

猿の尾はなぜ短い



猿の絵(松岡映丘画『桃太郎』より)

昔の昔の大昔、猿の尻尾は三十三尋(ひろ・約50m)あったそうです。ある時、猿は熊のうちへ訪ねて行って、どうすれば川の魚を沢山捕ることが出来るだろうかと相談しました。すると、熊は、今晩のような寒い晩に、どこか深い淵の上の岩に坐って、その尻尾を水の中へ漬けておくと色々な雑魚がくつつくと教えてくれました。猿は大喜びで教えてもらった通りにして待っていますと、夜が更けて行くうちに、段々と尻尾が重くなりました。それは、氷が張って来たからでした。が、猿は雑魚がくつついたのだと思っていました。

「是くらい捕れたら十分だ。冷たいから帰ろう」と思って、尻尾を引き上げようとしたりけれど抜けません。これは大変だと大騒ぎをして、無理に引張ったところが、その尻尾が根元からぷつぷつと切れてしまいました。このように、猿の尻尾は熊に騙されて、短くなったそうです。また、猿の顔が真赤なものも、その時あまりに力を籠めて引張ったためだと言う人もあります。(出雲)(出典・柳田國男「柳田國男」)

柳田國男生家周辺が 明るくなりました



ボランティアの皆様、ありがとうございました!

去る8月7日に鬱蒼と繁っていた木々の剪定がボランティアの方々により行われ、生家周辺が明るくなりました。

会員募集中!

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会は、一昨年、会員制度を発足させました。入会者には会員証をお渡ししています。

法人会費 一〇〇〇〇円
個人会費 一〇〇〇円



特典
記念館無料入館
個人(本人+家族一名)
法人(二口・四名まで)
もちむぎのやかた
レストラン1割引他



ご利用案内

【開館時間】
午前9時～午後4時30分

【休館日】

月曜日・祝日の翌日、
12月28日、1月4日

【入館料】

大人2000円(団体割引は
学生1500円 20名以上)
小人1000円